

二期目の市議会がスタートしました

◎平成21年10月18日の選挙で、市民のみなさまから30名の議員が選ばれました。

◎11月10日には初議会が開かれ、議長・副議長をはじめ新しい議会の構成を決め、市民の負託に応えるべく、横手市議会2期目の4年間で始動しました。

◇議長選挙 石山米男19票、佐藤清春11票 ◇副議長選挙 塩田 勉18票、木村清貴12票

就任のごあいさつ

一灯照隅 万灯照市

議長 石山 米男

「一灯照隅 万灯照市」小さなろうそくの明かりがポツとひとつつかり、その明かりを同僚の多くが市の隅々まで照らす。そんな市議会でありたいと願っております。

さて、去る11月10日開催の平成21年第7回市議会臨時会におきま

て、議員各位からご推挽いただき、不肖私が横手市議会議長の要職に就くこととなりました。改めて、その職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。引き受けたからには微力ではありますが、市政推進のため、誠心誠意努力する決意でありますのでよろしくお願いいたします。



今、社会が直面している課題は山積しております。過疎化は急速に進み、少子高齢化に伴う問題、金融問題に端を発した経済不況や雇用不安、地球の温暖化問題等など。また、市としても厳しい財政運営の中で、駅前開発、学校の統廃合問題やごみ処理統合施設整備事業の推進、温泉施設運営に関する諸問題など、どれひとつとっても大きな問題であります。こうした難問を新たに選ばれた30名の議員が

調和のとれた住みよい横手市をめざして

副議長 塩田 勉

副議長 塩田 勉

このたびの初議会におきまして、副議長に選任いただき、その重責を担うことになりました。課題が山積する市政の中で、市民福祉の向上と生活の安定のため、その使命を痛感し、

身の引き締まる思いでございます。昨年来の厳しい社会情勢は一向にゆるむ気配はありませんが、それぞれの地域の伝統と個性を活かしながらも調和のある住みよい横手市をめ

真剣に議論をし、課題解決に向け市当局とも綿密な連携をとりながら、地道に、しかも確りと取り組んでまいりたいものと考えております。

「豊かな自然 豊かな心 夢あふれる田園都市」を標榜する横手市は、広大な大地と豊かな緑、清流に恵まれた自然環境を有し、基幹産業の「農」は地域特産としての農作物も多種多様であり、「食と農からのまちづくり」を進めております。今後も農業の所得向上や雇用の場の確保、拡大につきましては、喫緊の課題であり議会が一丸となって積極的に取り組んでまいりたいものと思っております。そして、市民の皆様が健康で明るく生きがいと満ちた生活を安心して送れるよう将来を見据えた住民福祉の向上と横手市の発展のため、その使命を自覚いたしました。より効率的で効果的なそして風通しの良い議会運営を推進してまいります。

今後とも新しい議会に対しまして更なるご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

ざし、30名の議員が活発な論議を交わし、市民一人ひとりのご期待に応えるべく、市民に開かれた議会として、施策の実行と実現に向けて邁進する覚悟でございます。

市民のみなさまには、安心して暮らしてゆけるまちづくりを進める議会に対し、これからも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。